



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月9日

上場会社名 ギークス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7060 URL https://geechs.com
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 曾根原稔人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐久間大輔 (TEL) 050-1741-6928
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,026	△4.8	△119	—	△118	—	△96	—
2022年3月期第1四半期	1,077	54.1	51	△58.5	54	△49.2	28	△52.3

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △89百万円(—%) 2022年3月期第1四半期 25百万円(△57.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△9.16	—
2022年3月期第1四半期	2.75	2.70

(注) 2023年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	5,835	4,287	72.8
2022年3月期	5,874	4,470	75.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 4,249百万円 2022年3月期 4,444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	7.6	800	△29.4	800	△29.6	480	△31.9	45.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	10,564,840株	2022年3月期	10,564,840株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	40,151株	2022年3月期	40,151株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	10,524,689株	2022年3月期1Q	10,479,578株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当社グループはグランドビジョンに「21世紀で最も感動を与えた会社になる」を掲げ、ITフリーランスのデータベース、グローバルで活躍するITエンジニア育成など人材インフラを活かし、インターネットの普及によりめまぐるしく変化する人々の生活や企業の行動を積極的に捉え、変化対応力を強みに、提供サービスの創造・進化を通じて常に成長し続けることで、永続的な企業価値向上を目指しております。当社グループは子会社3社を含む全4事業で構成されており、各事業セグメントは「IT人材事業」、「ゲーム事業」、「Seed Tech事業」、「x-Tech事業」の4つに分類されております。

なお、当第1四半期連結会計期間より、セグメント区分を変更しており、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数字で比較分析しております。

当第1四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年6月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化している中で、人流抑制の緩和など警戒レベルは段階的に引き下げられてはいるものの、引き続き不透明な状況が継続しております。各業界における新しい生活様式の構築に向けたIT技術を活用した取り組みやデジタルトランスフォーメーションの推進によって、IT人材や個人のITスキル強化のニーズはますます高まっていると認識しております。

このような状況下、当社グループは、2021年5月14日開示の中期経営計画「G100」（2022年3月期～2025年3月期）で掲げた方針に基づき、各種施策に継続的に取り組んでまいりました。デジタルシフトを進める企業と、新しい働き方を求める個人のそれぞれの需要を捉え、技術リソースシェアリングプラットフォームとして役割を果たすべく事業体制を構築してまいりました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,026,054千円（前年同期比4.8%減）、営業損失は119,534千円（前年同期は営業利益51,809千円）、経常損失は118,098千円（前年同期は経常利益54,934千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は96,358千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益28,771千円）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

<IT人材事業>

IT人材事業におきましては、企業側からの需要が引き続き高い中、リモートワークによる首都圏と地方とのマッチングが増加し、とりわけ地方拠点における稼働者数が堅調に推移いたしました。前連結会計年度より継続して行っている企業向け広告投資の効果もあり、新規取引企業数も着実に伸長しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は516,767千円（前期比24.0%増）、セグメント利益は277,694千円（同22.6%増）となりました。

<ゲーム事業>

ゲーム事業におきましては、株式会社バンダイナムコオンラインが配信する「アイドリッシュセブン」や株式会社バンダイナムコエンターテインメントが配信する「僕のヒーローアカデミア ULTRA IMPACT」等の6本のタイトルの運営と、4本のタイトルの新規開発を行っております。当第1四半期連結会計期間において、一部タイトルの運営スタート時期のリスケジュールを行いました。フリーランスを活用し、開発状況に合わせた適切なリソースコントロールに注力しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は442,355千円（前期比24.2%減）、セグメント損失は246,666千円（前年同期はセグメント損失69,231千円）となりました。

<Seed Tech事業>

Seed Tech事業におきましては、当第1四半期連結会計期間より、法人向けSaaS型DX/IT人材育成サービス「ソダテク」のサービス提供を開始し、また、新型コロナウイルス感染症の影響で一時休止としていたフィリピンセブ島へのIT留学事業もリニューアルし再開いたしました。新サービスの「ソダテク」とオフショア開発受託事業と合わせて、IT人材の育成を軸にした事業展開を行っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は25,813千円（前期比23.7%減）、セグメント損失は36,715千円（前期はセグメント利益3,732千円）となりました。

<x-Tech事業>

x-Tech事業におきましては、最先端の技術や手法を活用し、「テクノロジー×データ」で、ビジネスモデル変革のテクノロジーパートナーを目指し、ゴルフ等のスポーツ領域を中心としたデジタルマーケティング支援やD2C支援を行っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は43,857千円（前期比0.9%増）、セグメント利益は12,683千円（前期比6.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産の残高は前連結会計年度末と比較して124,951千円減少し、5,399,426千円となりました。これは主に前渡金が8,944千円増加した一方、現金及び預金が37,071千円、売掛金及び契約資産が95,352千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産の残高は前連結会計年度末と比較して86,518千円増加し、436,434千円となりました。これは主にリース資産（純額）が3,547千円減少した一方、投資有価証券が10,592千円、繰延税金資産が79,056千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債の残高は前連結会計年度末と比較して146,129千円増加し、1,544,678千円となりました。これは主に未払法人税等が36,589千円減少した一方、買掛金が13,044千円、未払金が18,545千円、契約負債が124,199千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債の残高は前連結会計年度末と比較して890千円減少し、3,993千円となりました。これは主にリース債務が970千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の残高は前連結会計年度末と比較して183,672千円減少し、4,287,188千円となりました。これは主に利益剰余金が201,605千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,357,198	3,320,127
売掛金及び契約資産	2,027,272	1,931,920
仕掛品	5,827	4,154
貯蔵品	467	433
前渡金	8,456	17,401
前払費用	78,283	67,840
その他	49,635	60,135
貸倒引当金	△2,763	△2,586
流動資産合計	5,524,378	5,399,426
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,097	2,259
工具、器具及び備品（純額）	5,260	4,680
リース資産（純額）	17,187	13,640
有形固定資産合計	24,545	20,579
無形固定資産		
商標権	-	1,500
ソフトウェア	581	439
無形固定資産合計	581	1,939
投資その他の資産		
投資有価証券	129,782	140,374
敷金及び保証金	112,759	112,138
長期前払費用	3,028	3,125
繰延税金資産	67,219	146,275
その他	12,000	12,000
投資その他の資産合計	324,789	413,915
固定資産合計	349,916	436,434
資産合計	5,874,294	5,835,860

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,033,545	1,046,589
未払金	98,741	117,287
未払費用	51,177	54,891
未払法人税等	101,752	65,163
未払消費税等	54,407	57,452
預り金	34,906	45,480
契約負債	9,591	133,790
リース債務	14,255	11,667
その他	171	12,355
流動負債合計	1,398,549	1,544,678
固定負債		
リース債務	3,252	2,282
その他	1,631	1,711
固定負債合計	4,884	3,993
負債合計	1,403,433	1,548,672
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,101,531	1,101,531
資本剰余金	1,051,474	1,051,474
利益剰余金	2,314,803	2,113,197
自己株式	△21,252	△21,252
株主資本合計	4,446,556	4,244,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	7,348
為替換算調整勘定	△2,426	△3,026
その他の包括利益累計額合計	△2,426	4,322
新株予約権	26,718	37,896
非支配株主持分	12	18
純資産合計	4,470,860	4,287,188
負債純資産合計	5,874,294	5,835,860

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	1,077,846	1,026,054
売上原価	601,048	607,710
売上総利益	476,798	418,344
販売費及び一般管理費	424,989	537,879
営業利益又は営業損失(△)	51,809	△119,534
営業外収益		
受取利息	1	0
補助金収入	1,330	-
為替差益	2,402	1,457
その他	50	281
営業外収益合計	3,784	1,739
営業外費用		
支払利息	36	23
株式交付費	25	-
コミットメントフィー	596	279
営業外費用合計	658	303
経常利益又は経常損失(△)	54,934	△118,098
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	54,934	△118,098
法人税、住民税及び事業税	43,519	59,909
法人税等調整額	△17,345	△81,655
法人税等合計	26,173	△21,746
四半期純利益又は四半期純損失(△)	28,760	△96,352
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10	6
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	28,771	△96,358

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	28,760	△96,352
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	7,348
為替換算調整勘定	△3,149	△599
その他の包括利益合計	△3,149	6,749
四半期包括利益	25,611	△89,602
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,621	△89,608
非支配株主に係る四半期包括利益	△10	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間より、管理区分を見直したことにより、AR(拡張現実)などを駆使したアプリや映像制作を行う事業について、従来の「x-Tech事業」から「ゲーム事業」へ変更しております。これに伴い、前第1四半期連結累計期間の報告セグメント区分を同様に変更しております。

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計 算書 (注2)
	IT人材 事業	ゲーム 事業	Seed Tech 事業	x-Tech 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	416,635	583,942	33,815	43,452	1,077,846	-	1,077,846
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	416,635	583,942	33,815	43,452	1,077,846	-	1,077,846
セグメント利益 又は損失(△)	226,494	△69,231	3,732	11,914	172,908	△121,099	51,809

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△121,099千円には各報告セグメントに配分していない全社費用△129,199千円及びセグメント間消去取引8,100千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失の合計額と調整額の合計は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計 算書 (注2)
	IT人材 事業	ゲーム 事業	Seed Tech 事業	x-Tech 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	516,767	442,355	23,074	43,857	1,026,054	-	1,026,054
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	2,739	-	2,739	△2,739	-
計	516,767	442,355	25,813	43,857	1,028,793	△2,739	1,026,054
セグメント利益 又は損失(△)	277,694	△246,666	△36,715	12,683	6,996	△126,530	△119,534

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△126,530千円には各報告セグメントに配分していない全社費用△135,830千円及びセグメント間消去取引9,300千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失の合計額と調整額の合計は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。